



### 港の聲

昨日の小名濱魚市場並に代行機關水工の竣功式に列席した來賓の内には日曹重役でもあり、社界人としても未廣氏や鈴木前代議士、田先づ次席格だ、もう少し大倉孝雄氏などの洗練されたきな儀を持つて貰へれば先世間士の祝演説などあり、自分を抱かした、水野中田倉孝雄氏の演説は大きな怒りである事は東日に出て御容に於て小名濱、本丸横取りされるハグしたでを喰つた感があつた、本紙の記者記事にある事はも氏は水工の重役でもあり先般承知してゐる、本紙は小名濱には二本松電氣など何も水野さんをどうこう言を通じて知已ではあるが、ふたのてはなく問題その物小野町長を御坊ちやんにしを、どらいて論議した迄でたりピットラーにしたり、全國版に一勢に掲載された全世界を手に取る手品士あの出來事を、町民の輿論をこまごま行けば人間は煮て直感を練とし論議した迄でも焼いても喰へぬものだ、新聞記者としての當然の職感させた、それから見る、務を忠實に行使した迄で、と鈴木前代議士などはまだそこには何も不純な考を持つ「生ぶくしい一面も廻つてゐたものではない、私に於て羨望は喰へるかな、の立場より言へば叱られて位の感じを興へてゐる、日も致し方ない事で、只水野の擔任重役未廣氏に至つて野さんは御家柄であり、立ては本場もの、の感して場派な人なだから一笑に附違ふものは一寸變り味して貰ひたかつたのだ、實や甘味もあつさりして、いは二十四日御訪ねしたのはま一つ位食べて見たい食慾二十五日の竣功式に漁業組合長としての感想や將來への抱負を聴かして頂きたかつたのだ、まあ新聞記者とは不機嫌なものだ、位で、水野さん想ひなさいで下り

日の上醬油 醸造元 發老 味噌 醸造元

電話二番十九

**綠屋 商店**

千代田生命保險相互會社  
富國徴兵保險相互會社  
昭和火災保險株式會社  
代理店



齒科一般 口腔外科

日曹合成鹽酸 販賣  
日曹自動三輪車  
其他化學藥品類

**日本曹達株式會社**

魚糞製造

**江名工場**

契約者本位 一家の延長として

**湯本 盡 無へ**

御加入をおす、めす

（病室完備）  
入院隨意

**大和田醫院**

耳鼻咽喉科 専門

平市南町十六

皆様おなじみの

御料理 御仕出し

**喜 樂**

中島電話四十七番

内科外科 小兒科  
花柳病科 耳鼻科

**宮津醫院**

小名濱町 電話四二番

内科 小兒科  
産婦人科 花柳病科

**久保田醫院**

小名濱町  
電話二二番

魚市場代行機關  
小名濱町築港内

**磐城水産工業株式會社**

電話一四四番

院長 醫學博士 鈴木定藏

**森合齒科醫院**

院長 森合 芳夫  
電話七十一番

平 病 院

院長 醫學博士 鈴木定藏

（平市元共濟病院跡）  
電話六四一（番）

小兒科 院長 鈴木定藏  
內科 院長 鈴木定藏  
一般外科 院長 高橋俊幸  
皮膚泌尿器科  
レントゲン科 部長 鈴木定藏  
物理療法科 部長 鈴木定藏  
藥劑科 部長 吉本孝平

診療時間 毎日午前八時より午後九時迄（夜間診病に從事す急患は此の限りにあらず）

水野さん一昨日漸やくの事  
で拜顔が出来、御断を伺ふ

水野政次郎さんに紙上  
より一ペン

事が叶ふと思ふて悦ぶ暇も  
なく一君などは漁業組合に  
來れる義理でもなからう」  
の一言を残して、サツサと  
出て行つて、御前なぞには  
用はないの素振であつた。

水野さんは漁業組合の親方  
だ、小野町長に次ぐ御家柄  
した來賓の内には日曹重役でもあり、社界人としても  
未廣氏や鈴木前代議士、田先づ次席格だ、もう少し大  
倉孝雄氏などの洗練されたきな儀を持つて貰へれば先  
世間士の祝演説などあり、自分を抱かした、水野  
中田倉孝雄氏の演説は大きな怒りである事は東日  
に出て御容に於て小名濱、本丸横取りされるハグした  
でを喰つた感があつた、本紙の記者記事にある事は  
も氏は水工の重役でもあり先般承知してゐる、本紙は  
小名濱には二本松電氣など何も水野さんをどうこう言  
を通じて知已ではあるが、ふたのてはなく問題その物  
小野町長を御坊ちやんにしを、どらいて論議した迄で  
たりピットラーにしたり、全國版に一勢に掲載された  
全世界を手に取る手品士あの出來事を、町民の輿論  
をこまごま行けば人間は煮て直感を練とし論議した迄  
でも焼いても喰へぬものだ、新聞記者としての當然の職  
感させた、それから見る、務を忠實に行使した迄で、  
と鈴木前代議士などはまだそこには何も不純な考を持つ  
「生ぶくしい一面も廻つてゐたものではない、私  
に於て羨望は喰へるかな、の立場より言へば叱られて  
位の感じを興へてゐる、日も致し方ない事で、只水  
野の擔任重役未廣氏に至つて野さんは御家柄であり、立  
ては本場もの、の感して場派な人なだから一笑に附  
違ふものは一寸變り味して貰ひたかつたのだ、實  
や甘味もあつさりして、いは二十四日御訪ねしたのは  
ま一つ位食べて見たい食慾二十五日の竣功式に漁業組  
合長としての感想や將來への抱負を聴かして頂きたか  
つたのだ、まあ新聞記者とは不機嫌なものだ、位で、水  
野さん想ひなさいで下り